

2015



地域行事に積極的に参加することで、徐々に港南の皆様から認識してもらえようになり、町会・自治会・商店街・振興会の皆様より様々なご相談をいただきました。また、この頃から、政治は「まちづくり」と「人づくり」であると確信を持つようになりました。



2017



港区議会議員選挙に初出馬・初当選を果たしました。港南に住所を置く唯一の区議会議員として、しっかりと港南の皆様の声を区政に届け、これから始まる連続的かつ大規模な再開発事業を地域に根ざしたものにしていこうと誓いました。



議会における質問や日頃の陳情対応を通じ、役所の皆さんと信頼関係を築いていくことで、様々な政策や提案をカタチにすることができるようになりました。政治家には調整能力が必要だということを実感したのもこの頃です。



当選後も毎週水曜日朝の駅頭活動を継続。また事務所を港南3丁目から現在の港南2丁目の石橋ビルに移転し、偶数月に「区民相談会」を開催。また10月に「区政報告会」を2月に「港区の明日を拓く会(政治資金パーティー)」を定期開催しています。



港区議会議員 黒崎ゆういち 4年間のご報告

4年前の港区議会議員選挙において、区民の皆様から1406票というご信頼をいただき、生まれ育った港区の区議会議員として、地域を良くするための仕事ができる立場を頂きました。あの日から4年、港区の未来に向かって、黒崎ゆういちは今後も港南の皆様のお役にたち、東京の玄関となる港南から、港区を前へ進めてまいります。



2016



黒崎ゆういちが得意とするスポーツの分野でも、子ども達のお役に立てる機会も増えてきました。また自民党都連青年部の幹部を務めることにより、他区の区政情報も入手できるネットワークが広がり、政治家としてのベースが広がっていききました。



2018



港南地域の安心・安全を守る高輪消防団第4分団に入団。「わがまちをわが手で守る消防団」消防団はボランティア活動です。地域愛と責任感を持つ団員の皆さんの活動を議員という立場でしっかりとサポートさせていただきます。



まちづくりにおける最大の障害は行政のタテ割り構造です。区・都・国という目に見えない境界を、自民党が持つ政治基盤により、新駅や環状4号線、リニア中央新幹線等による再開発を様々な視点から全体最適を果たしていきます。

4年間継続した行動を通じて得ることができた港南の皆様からの信頼にお応えするべく、港南ファーストの活動を展開していきます。そして、東京の玄関となる港南から、黒崎ゆういちは今後も港区をもっと前へ進めてまいります。

プロフィール

42歳・AB型・元ラグーマン & 商社マン
1976年(昭和51年)港区赤坂生まれ
東京都港区立筈小学校卒業

学生時代をラグビー競技者として邁進。商社勤務やNPO等の組織運営経験を活かし、2015年港区議会議員に初当選。ラグビーで身につけた「ワンフォーオール・オールフォーワン」の精神と突破力や、企業人経験から学んだビジネス創出力で、港区を前へ進めます。

明治大学付属中野中学校・高等学校卒業
明治大学政治経済学部政治学科卒業
日商岩井株式会社・株式会社メタルワン出身

主な職歴

港区議会 区民文教常任委員会 委員
港区議会 交通・環境等対策特別委員会 副委員長
自由民主党東京都港区総支部青年部 部長
自由民主党東京都港区第36支部 支部長
一般社団法人港区ラグビーフットボール協会 会長

NPO 法人みなとラグビースクール ファウンダー・運営委員長
秩父宮みなとラグビーまつり実行委員会 事務局長
高輪消防団第4分団 団員
明治大学校友会港区地域支部 幹事